

財団法人 日本サッカー協会

2011 年度 第 7 回常務理事会

追認事項

1. 日本人指導者海外派遣の件

(追認) 資料No. 1

トルクメニスタンサッカー協会 (T F F) からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として以下の指導者を T F F へ派遣したい。

被派遣者： 中村恭平 (42 歳)

J F A 役職： フットサル委員会指導者養成担当

派遣先協会： トルクメニスタンサッカー協会 (T F F)

T F F 役職： トルクメニスタンフットサル代表チームテクニカルアドバイザー

契約期間： 11 月 1 日～7 日 U A E における事前キャンプ

11 月 12 日～30 日 トルクメニスタン

費用負担： [J F A] 日当及び傷害保険料、往復航空運賃

[T F F] 自動車、住居費

被派遣者略歴： 添付別紙のとおり

<背景及び実施理由>

T F F はここ数年来フットサルの普及と強化に注力しており、今般正式に日本人コーチの派遣の要請を受けたもの。11 月 25 日から同国の首都アシュカバッドで開催予定の A F C フットサル選手権予選 (南・中央アジア地区) に向けた代表チーム強化のためのテクニカルサポートが主な業務となる。

中央アジアにおいては既にタジキスタンに指導者を派遣しており、来年よりキルギスにも J I C A (独) 国際協力機構) 制度を利用して指導者を派遣見込みである。資金も潤沢でアジアの強豪国の一つであるウズベキスタンは別として、その他の中央アジア 3 国との関係づくりのバランスにおいてトルクメニスタンへの貢献策は戦略的な観点からも必要と考えていた中での派遣要請だったので是非応じたい。